

下町河川 Tomorrow

東京都の江東内部河川流域連絡会の情報誌（会議録）

令和元年10月30日（水）

第67回（第10期第5回）江東内部河川流域連絡会を開催



会議の様子





- ・「第67回（第10期 第5回）江東内部河川流域連絡会」を、午後2時から4時30分まで、第五建設事務所・江東治水事務所合同庁舎4F「第六会議室」にて開催しました。
- ・都民委員10名、行政委員8名が参加しました。
- ・前回の会議内容の抜粋である『下町 Tomorrow 66号』が事務局より提示されました。
- ・議事に移り、『台風19号の対応状況について』を江東治水事務所から、『江東内部河川流域連絡会の今後の在り方について』の説明が事務局からありました。
- ・これを受けて意見交換が行われました。
- ・その後、都民委員から情報提供が行われたあと、意見交換を行いました。
- ・最後に事務局より、今月の12日に予定されていたイベント「川を歩こう（旧中川コース）」が台風19号の影響で、実施できなかったと報告がありました。

議題及び情報提供

1. 台風19号の対応状況について（江東治水事務所）

・江東治水事務所水門管理課より、台風19号の対応状況について概要説明がありました。

～ 台風19号の対応状況について（水門管理課直轄施設）～		令和元年10月30日 江東内部河川流域連絡会 江東治水事務所水門管理課	資料 2
1 概要 （※気象庁資料より引用）			
<ul style="list-style-type: none">10月12日（土）19時前に、台風19号が大型で強い勢力で静岡県伊豆半島に上陸。上陸時の中心気圧、955hPa程度。風については、東京都江戸川臨海で、最大瞬間風速43.8m/sとなり、観測史上1位を更新。12日（土）4時14分 東京都23区大雨警報、高潮注意報発表。夜より、一部地域で特別警報発表。江戸川臨海における降雨量は、12日の1時間雨量で、最大12mm程度と比較的穏やかであった。			
2 水門の閉鎖状況			
<ul style="list-style-type: none">12日及び13日は大潮であったが、台風最接近時刻が干潮時刻付近であったため、満潮時に接近した時と比較し、大きな潮位上昇とはならなかった。最高水位：A.P.+2.81m（新小名木川）、最大偏差：+1.82m（新小名木川） A.P.+3.10m（上平井）、A.P.+2.80m（亀島川）12日（土）14時頃、台風の影響により、<u>竪川、新小名木川、大島川、月島川、住吉、上平井、今井、源森川水門閉鎖開始。</u>13日（日）0時頃に、閉鎖した上記水門を開放。13日（日）3時頃、満潮近傍における異常潮位により、<u>竪川、新小名木川、大島川、月島川、住吉、源森川水門閉鎖開始。</u>13日（日）6時頃に、閉鎖した上記水門を開放。			図 上平井水門（12日15時頃）
3 排水ポンプの運転状況			
<ul style="list-style-type: none">水位低下地区においては、雨量が比較的少なく、A.P.-1.3mを目標とした安定運用を実施。木下川排水機場のポンプは、<u>12日（土）10時40分頃より、エンジンポンプ運転開始。</u>電動ポンプは、最大2台運転で対応。小名木川排水機場のポンプは、<u>12日（土）14時20分頃より、エンジンポンプ運転開始。</u>電動ポンプは、1台運転で対応。清澄排水機場のポンプは、<u>12日（土）18時20分頃より、エンジンポンプ運転開始（最大2台運転）。</u>			図 小名木川排水機場

- ・10月12日、19時前に台風19号が直接東京湾から襲来しました。中心の気圧955hPaをキープしながら突入したという状況になっております。
- ・水門の閉鎖状況は12日14時頃、台風の影響により竪川・新小名木・大島川・月島川・住吉・上平井・今井・源森川水門閉鎖、主に隅田川筋の水門を閉鎖しました。
- ・排水ポンプの運転状況は、墨田・江東・江戸川で、大雨注意報が出た段階でAPマイナス1.3mを目標に水位低下を行っております。
- ・結果として水位低下地区、耐震護岸地区について、大きな水位変動がなく対応できました。
- ・水門排水機場の位置については次ページに示します。

【意見交換】

◆都民委員 ◇行政委員

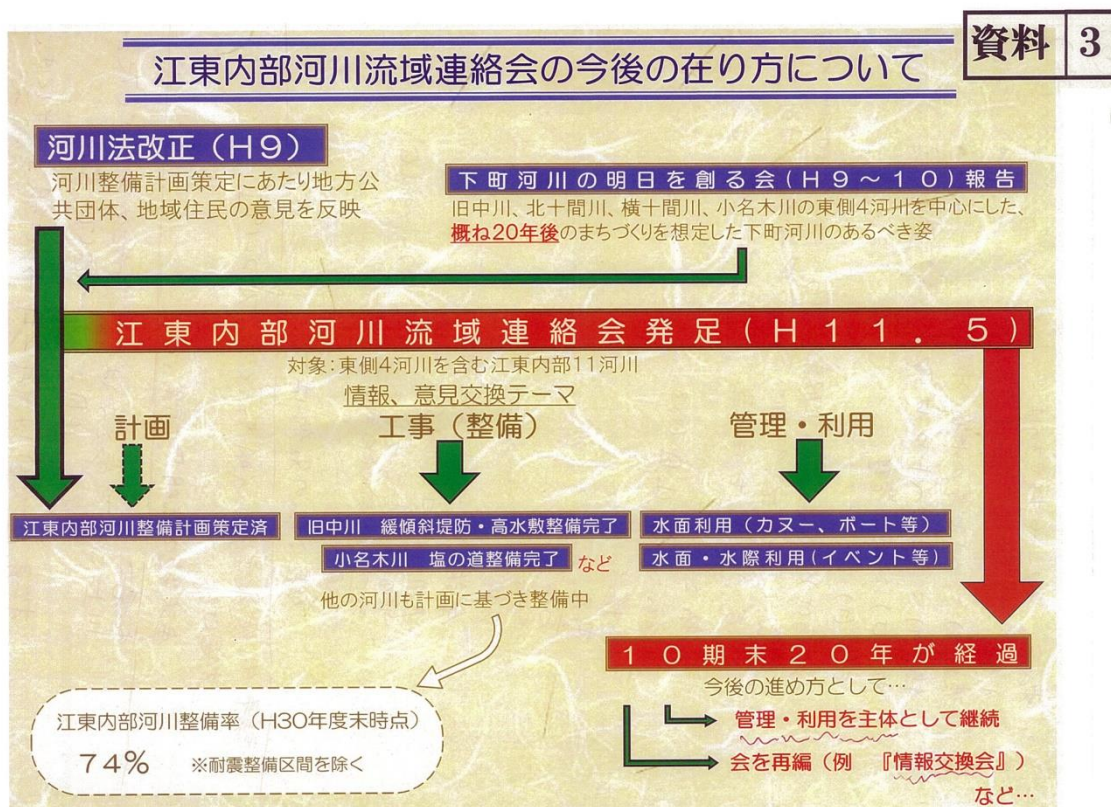
- ◆教えていただきたいのは、特別警報は、何が具体的問題になってこういう警報が出てきたのか。それから、結果的にはこれということもなく、本当に良かったなと思っていますが、干潮時に台風、大雨がちょうど当たったということで、それで救われたということでしょうか。
- ◇河川は警戒水位、特別警戒水位が設定されており、その水位に達すると警戒や避難という情報を流すようになっています。
- ◆12日から13と14とずっとテレビを見ていて逃げた方がいいのか逃げない方がいいのかいろいろ考えた時に思ったのは、どこをどう頼りにしたらいいのかということでした。
- ◇江戸川区では、先日の台風19号で避難勧告を区民にお知らせしましたが、防災無線では理由を伝えなかった不手際があったかと思います。原因としては荒川の水位が一定の高さ以上になったため、避難所開設をして、自主避難をお願いしたということです。
- ◆江東区は、なぜ地域を限定して、避難勧告等を出すのか。北砂6丁目も4丁目も標高では50cmと変わらない。
- ◇避難勧告は、防災の部署で出しており、4丁目と6丁目で違いがあるのかは、確認しないと分からない。江戸川区と同じように荒川の水位を基準にして、避難勧告を出しているはずですが、シミュレーションによると江東区の東側の方まで浸水するというので、たぶんそれを基に避難勧告とか設定しているはずですが。
- ◆墨田区は、12日の朝7時に避難所をリバーサイドホール、区役所、9時から立中と寺中と桜堤中学校に開設するとなったが、メールでの情報提供がどうなっているのか不安となっています。
- ◇墨田区では、避難所の開設、情報連絡については混乱があったと聞いております。今回の反省を活かして、今後対応していきたいと思い、いま検討体勢に入っております。

2. 江東内部河川流域連絡会の今後の在り方について（事務局）

- ・発足から10期20年を迎えた江東内部河川流域連絡会の今後の在り方について、事務局から、発足の経緯、今後の在り方について提案がありました。
- ・平成9年に河川法の改正が行われ、「河川整備計画の策定にあたって地方公共団体、地域住民の意見を反映」ということになり、利水・治水の役割だけではなく、河川環境の整備と保全というテーマを加えて計画を立てることがうたわれるようになりました。それについて地方公共団体、地域住民の方々の意見を反映するような手続きを入れるという形が、この河川法改正によって可能になりました。
- ・平成9年から「下町河川の明日を創る会」で地域の方々の意見を聞くということを平成

10年まで2年に渡って行われてきました。ここでは、治水・利水だけではなくて、旧中川・北十間川・横十間川・小名木川の東側4河川を中心とした概ね20年後のまちづくりを含めて整備に反映できないか。それによって、そういうものを想定した下町河川のあるべき姿を考えていこうというのがこの会でして。その報告が10年10月に出て、それを受けて「江東内部河川流域連絡会」が11年5月に発足しました。

- ・現在10期になり、その間に「江東内部河川整備計画」が策定され、工事は旧中川で緩傾斜堤防・高水敷が完了し、小名木川では塩の道の整備が完了するなど、連絡会の趣旨は、着実に進んでいます。また、旧中川、小名木川では水面利用としてカヌー、ボートを日常的に利用していただいております、さらに、水際や高水敷を含めたエリアで区あるいはNPO、他の団体が各種イベントを開催して、多様に河川を利用することも進んでいます。
- ・連絡会は、10期20年を経過し、「下町河川の明日を創る会」の時の概ね20年後のまちづくりにはほぼ合致している時期になっておりますので、今後の進め方として、工事が一段落した今、情報交換、意見交換のテーマとして、管理・利用を主体に流域連絡会を情報交換会に再編していくようなことを検討しています。



【意見交換】

◆都民委員 ◇行政委員

- ◆旧中川の平井周辺は、本当に素晴らしい環境になりました。これ以上の要望が特にない。だから情報交換会として、1年に1回か2回くらい開催すればよいと思う。旧中川に関しては、この会合でお願いしたいことがありません。北十間、小名木川については、まったく関知してないので分かんないんですが。他に知りたかったのは、小名木川と木下川に新しくポンプ場が出来ましたが、大体何台くらいありますか。
- ◇木下川排水機場は、エンジンポンプが3台、電動が2台です。現在は工事中の関係もあり、稼働台数が若干少なくなっています。また、小名木川は4台中3台がエンジンポンプ、あと電動ポンプが1台となっています。小名木川については外構工事以外は、完了しており、ポンプの稼働台数は全台運転できる状態になっております。
- ◆流域連絡会は20年やってきて一つの目標が終わりの方に近付いてきているといわれました。そのための会の形態をどのようにするかということですが、私としてはカヌーの事業、行事をやる上で、やっぱり河川利用、様々な形で出てきていますのでその情報交換ということではこれからも続けていって欲しいと思っております。現在は、ネットを利用し、そこからの情報発信もあればほとんど間に合うかなという気はしますけれども、やはり顔を合わせてっていうのも必要だと思っております。そういった形でぜひ何かしら続けていって欲しいなと僕は思います。
- ◇今の意見は、管理主体でも構わないということですか。何らかの形で続けていければということですね。分かりました。
- ◆9月6日に開催した「クリーン作戦、運河のごみゼロカヌーツーリング」について報告させてください。参加者数が227名、他県からも参加していただきました。カヌーが借りた分を合わせて192艇出まして、ごみは意外とあり、900のごみ袋19袋、大体100kgぐらいのごみを拾うことが出来ました。大体19のうちの17袋がプラスチックごみです。
- ◆旧中川は、景観的に完成しましたが、川底のヘドロや水質改善、環境など、目に見えない部分の所はまだ積み残していると思います。その辺を検討するためにも連絡会のような形は必要だと思っております。
- ◇河川での活動が盛んになると維持管理が必要になるということで、連絡会は何らかの形であった方がいいかなということですね。今まで、そういう積み残した話はなかなか出てこなかったんですけど、例えば、改めてそういう話とかいうことですね。
- ◆私がこの会に参加させてもらった一番の目的が、情報収集です。私どもが住んでいるマンションの防災という観点から治水に関して、内部河川の管理がどのように行われているのかを知って、それに合わせてマンションの防災対策を行う。同時に、内部河川の管理を見ていて、意見を言う。その中で、東京都のマーク付けた船でゴミ拾っています

が、マンションの住人の話だとチョロチョロッとごみを拾ったら、タバコ吸って休んでいるという状況で、管理はどうなっているのか。内部河川のごみの収集、清掃というのは、どういうふうな形になっているのか教えていただきたい。

◇第一建設事務所が一括でやっております。清掃は、外注に契約をしておりますので、もしそういう清掃の仕方をしているようであれば、一建から指導していただくようにします。

◆錦糸町は特に在住者が少なくて在勤者ばかりです。昼間、例えばこういう治水の対策を在勤者に説明をすると何も分からないですね。墨田区に住んでない。だからここで教えていただいたことを説明出来るのが、この連絡会の凄くいいところでもあります。

会の形態は、評議会、連絡会や情報交換会の名目で、意見を吸い上げる会、情報を共有する会、何かを解決する会、治水整備等の報告会のようにある程度区切ったものにしていただけると、フラストレーションが溜まらない会になると思います。

◆先ほどごみ収集船が真ん中をチョロチョロとしかやっていないという話がありましたが、現実問題として動力船で護岸にはいろいろな設備や突起物があり、そこを舐めるように清掃するのは、無理だと思います。やはりその近くに住んでいる者、またその近くで活動している者が、活動して自分たちの所はきれいにしておきたいですね。集めたゴミの回収方法など清掃の仕組みを作るためにも、連絡会はあっていいかなと思っています。

◇会の形態は、流域連絡会にするのか、違う名称にするのかは検討するとして、先ほどもお話があったように20年の歴史とか経緯とか、東側の河川の水位を下げたその役割とか、何でそういうことをやっているかということ、また、防災的な話も含め、情報交換をしていきたいと考えています。また、このような場所を通じて、都や区が行っている河川の事業をPRする場でもあるため、ぜひ残していかなければいけないと思っております。

3. 都民委員からの情報提供

「繋ぐ!!クルーズ」について都民委員が説明をしました。

・「繋ぐ!!クルーズ」は、6日間限定で社会実験で、南北交通とよく言われるんですけど、船の南北交通があってもいいのではということで、計画しました。今年3年目になります。今までは扇橋閘門が閉まっていたので使えませんでした。今年開放されたのでこれを実際やって、お客さんの反応や料金について集めた知見を船会社に上げることが出来たらいいなと思っています。

この社会実験は、住民勝手に進めているのではなく、共同事業なんだと思います。今

後もぜひとも続けていただきたいし、将来的にはその人員削減なんていう話ありましたが、何か経済的な効果とか、経済的にどうやってやればそれをもうちよっと住民の手を借りながら出来るとか、そういうことまで言及されていかれるといいんじゃないかなと私は思いました。

つな 資料 4

繋ぐ!!クルーズ2019

～江東・墨田観光連携川ツアー実証実験～

スカイツリーと門前仲町をつなぐ水の街道を巡る旅

ドラマの舞台として有名な
クロンバー橋

6日間限定実験運航
11月9.10.16.17.23.24日
(23.24日は深川名所めぐりと同日運航)

深川不動堂

水のエレベーター体験!
(写真は改修前のものです)

主催 特定非営利活動法人 江東区の水辺に親しむ会
後援 江東区 墨田区 江東区観光協会
協力 芝浦工業大学 遠藤研究室 東京都立第三商業高等学校
本事業は 一般社団法人 関東地域づくり協会の公益助成事業です

A: 表街道ルート
江戸開府初期に開削された河川と隅田川を通るルートでクロンバー橋をくぐり扇橋開門で水のエレベーター体験ができます。隅田川から見るスカイツリーも格別です。

B: 裏街道ルート
扇橋開門と門前仲町の間はふだん船が通ることのない裏道を通ります。川と街が間近にある景色をお楽しみください。

通常ツアー 2400円
(子供料金 1200円)
★昼出発お弁当付きツアー 3300円
(お弁当付き子供料金 2100円)
お子様はお弁当なしも可能です

運航スケジュール(出航時刻)
(出航時刻の15分前までに集合ください)
集合場所: 往路便 黒船橋 復路便 おしなり公園

日	便	往路便	復路便
11月9日(土)	A	10:30	12:30
11月10日(日)	A	9:30	11:00
11月16日(土)	B	10:30	12:30
11月17日(日)	A	10:00	12:00
11月23日(土)	A	10:30	12:15
11月24日(日)	A	14:00	10:00
		12:00	12:00

運航ルート
集合場所の詳細については申込サイトでご確認ください。

三ツ目だ川亭船券店
https://masumoto.co.jp/shop/cart/

ご予約お待ちしております!
http://koto-mizube.org/
お問い合わせ先
mizube@talo-city.co.jp

注意事項
・ツアー運営上、予約申込人数が少ない場合は運航を行わない場合があります。その場合、予約された方には運航日の2日前までにご連絡を差し上げます。
・悪天候が予想されツアーを中止する場合には、予約された方に運航予定の前日夕方までにご連絡を差し上げます。
・安全上の配慮から、乗船にはライフジャケットを着用していただきます。子供用のライフジャケットが着用できない1歳未満のお子様はご乗船いただけませんので、ご理解ください。
・定員40名程度の屋根なし中型船を使用します。お客さまご自身で防波対策、雨対策(傘をささないためカッパ着用)をお願いいたします。船の構造上、バリアフリー環境は提供できませんので、ご了承ください。
・ペットの同伴、大きな荷物の携行は原則、ご遠慮いただいております。
・船内は禁煙です。飲食物の持ち込みと船内の飲食は可能ですが、発生したゴミは各自でお持ち帰りください。
・運航日数が迫ってからのキャンセルについてはキャンセル料をお支払いいただく場合があります。
・上記の詳細及びその他の注意事項については水辺の会HPあるいは予約サイトでご確認ください。

4. 事務局からの報告

今月12日に「川を歩こう(旧中川コース)」っていうイベントを予定していましたが、台風19号の影響で、今年度は中止とさせていただきます。

流域連絡会の今後の予定

今回は2月の下旬の予定です。

連絡先 : 江東内部河川流域連絡会事務局 (東京都江東治水事務所内部河川工事課内)
担当 : 松尾、川上
TEL : 03-3692-4945
Email-address : S0200225@section.metro.tokyo.jp